

| 箇所      | コメント内容   | 修正内容   |
|---------|--|--|
| 前文      | 指標例の更新の取扱いについて言及すべきではないか。  | 前文にて「国内外の議論、ICMA等の関連文書等の改訂、その他社会的課題の変化等に応じて、例示の見直し・充実等を行う予定である」旨の注を追記(P1)。                 |
| 内容一覧    | 取り上げている社会的課題の中に「国際協力」の記載を入れるべきではないか。   | 例⑭(食品ロスの削減)は「国際協力」関連でもあるため、その旨を追記(P6)。   |
| 指標等の例全体 | 各事例に係る環境・社会的リスク例について、全案件に記載しているわけではないので、その理由と参照する場合の留意事項を記載すべきではないか。                 | 前文にて「環境・社会的リスクは発行事例等を踏まえて例として記載したものであり、例示されていない場合も、環境・社会的リスクが無い/低いことを示すものではない。」旨の注を追記(P2)。 |
| 例①      | 例①において、女性の活躍推進と外国人児童への教育を一つの事例で扱うことは避けてはどうか。   | 例①を女性と外国人児童とで分け、新たに例①・例②として整理(P7-P12)。   |
| 例①      | 社会的課題に「高等教育をめぐり、理工系で女子の割合が低い、大学院への進学も女子が低い」と書かれているにもかかわらず、インパクトやプロジェクトには記載が無いのではないか。 | プロジェクト内容や指標の例に、「女性の理工系分野への参画の促進」について追記(P8)。  |
| 例②      | 保育／子育てに関して、「職住近接」(より基本的には地方の活性化)、もしくは共同でもいいので「職場での施設整備」という観点からの記載をしてはどうか。            | 社会的課題に「職住育近接」について追記。また、プロジェクト内容と指標の例に、「職場での施設整備」について追記(P14)。                               |